

3年ぶりの七夕まつり

3年ぶりに、南会津町上中町地内で、「七夕まつり」りが開催されました。南会津町商業振興協同組合とまちなか楽座が主催しました。「新型コロナウイルス感染症感染予防のため、会場内での飲食は禁止し「GO TOテイクアウトまつり」としました。クレープやからあげなどのキッチンカーや町内事業所のしんごろうなどのお店が出店。アロマやスーパーボールすくいなどの体験やゲームなどは子供たちに人気でした。

路上では田島小学校4年生のよさこいや、うたとバルーンを合わせた女性グループ、地元ミュージシャンの演奏やパフォーマンスでにぎわいました。

会場には田島地域内の園児らの願い事がかかれた七夕飾りが飾られ、保護者らが願い事を読んでいました。会場は久しぶりに開催された祭りを楽しむ多くの人でにぎわいました。



バルーンと歌・ダンス



田島小4年生よさこい



暁の星幼稚園児の太鼓



しんごろう



アロマ体験 木のうちに絵をかいてアロマをたらす

田島祇園祭で「まちなか縁日」

田島祇園祭は、路上での出店は中止されましたが、まちなか縁日と名付け、事業所や団体の有志らが駐車場などで出店を出し、祭り気分を盛り上げました。

まちなか縁日は、子供たちにお祭り気分を！と南会津町商業振興協同組合が協力し、出店を決めました。かたぬき、スーパーボールすくい、かき氷、もつ煮、クレープなど町内8か所で行われ、各ブースには消毒液がおかれ、感染防止対策を呼び掛け、運営を行っていました。どのお店も「こんなに子供たちや祭りを楽しむ大人の皆さんが出かけてくるとは思わなかった。喜んでくれた」と話していました。

南会津町商業振興協同組合関係者は、「有志での出店にこぎつけるまでは大変だったがやってよかった。短い時間に多くの人に協力を得ることができた。これからのまちづくりの一つになる」と振り返りました。



ゲームやかき氷、もつ煮など・・・縁日を楽しむ

雑貨店「ひと粒」オープン

7月18日、南会津町上町地内に、手作り雑貨のお店、「ひと粒」がオープンしました。店主はカフェ「ジーママ」の五十嵐史織さん。これまではジーママ内で販売していた小物のお店を、独立させ、「楽しく街を歩いてほしい!」と新しくオープンさせました。作家さんのバッグや陶磁器、など手作りを展示販売しています。企画コーナーでは日程を設定し、絵本・パン販売、アクセサリ作りのワークショップなど、企画を計画しています。



外来種植物の除去

南会津町の湿原を守る会は毎年、駒止湿原保護協議会の依頼を受け、駒止湿原周囲の開拓農道で外来種植物の除去を行っています。今年は6月27日に行われました。

東北電力ネットワーク(株)田島電力センターのボランティア2人を含め18人が参加しました。除去は駐車場から白樺谷地入口までのおよそ2キロの農道でニガナ、ブタクサやヘラオオバコ、シオンなどを中心に行い、町ゴミ袋16袋分を除去。

南会津町環境審議員でもあり南会津町の湿原を守る会会員の平野健一氏は「毎年行っていることで外来種植物が増殖することを防いでいる。毎年行いたい。」と話しています。湿原を守る会では、7月26日、日立造船が計画している(仮称)会津大沼風力発電事業への白紙撤回を求める要請書を南会津町と昭和村へ提出しています。



田島小学校 家庭教育学級



田島小学校教養委員会は6月24日、「お笑いで学ぶコミュニケーション」と題した、家庭教育学級を開催しました。5、6年生の親子の希望者が参加しました。講師は新潟県生まれの高橋なんぐさん。これまで1700回以上講演を行っているお笑いタレントで、米100俵に関係した本も書いています。高橋氏は、自身が世界の国々を回った時のエピソードから感じたこと、自分が変わることができた事などを話しました。

そして見方を変えたら味方になる。まるで変わる。どんなことでも自分に関係がある!と笑いを入れながら話してくれました。

予定

- 8月7日 大桃の舞台 ライブ配信でご覧ください
- 8月10日 道の日 駒止湿原ぶなっこ遊歩道標高碑除幕式
標高碑寄贈 一般社団法人福島県測量設計業協会
- 8月14日 R3年度成人式(昨年度から延期されていた)
- 8月15日 R4年度20歳のつどい(成人式)
御蔵入交流館
- 8月18日 郡合唱祭
- 8月25日 公立学校始業式

南会津町副町長決まる

7月19日、南会津町議会令和4年第3回臨時会が開催され、副町長が選任同意されました。選任されたのは、福島県生活環境部生活環境総務課主任主査の佐藤一範氏です。臨時議会では最後に、副町長の選任が議題とされ、渡部正義町長が、副町長選任について、議会の同意を求めました。採決は起立によって行われ、全員起立で決定。任期は8月1日より。



佐藤一範氏